

厚別区もみじ台地域における
『新しい学校になったことについてのアンケート調査』
の結果について

～学校規模適正化の効果検証～

平成 24 年 8 月

札幌市教育委員会

調査の概要

1 背景

札幌市では、少子化の影響などにより学校が小規模化し、クラス替えができない、望ましい教育効果が得られないといった問題が生じることがあることから、子どもたちに良好な教育環境を提供することを目的に、平成19年12月に「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」及び「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する地域選定プラン〔第1次〕」を策定し、札幌市内の3地域において学校規模の適正化の取り組みを進めてきた。本アンケートは、そのうちの1地域である厚別区もみじ台地域を対象として実施したものである。

厚別区もみじ台地域では、平成20年6月に、保護者や地域の方々、学校関係者等からなる「小規模校検討委員会」を立ち上げ、統合校の位置、統合時期、校名案といった内容を検討し、検討した内容を札幌市教育委員会へ意見書として提出していただいた。その内容を尊重し、平成23年3月末をもって「もみじ台小学校」「みずほ小学校」「もみじ台南小学校」「もみじ台西小学校」を閉校し、同年4月に新たに「もみじの丘小学校（みずほ小の校舎を活用）」「もみじの森小学校（もみじ台西小の校舎を活用）」を開校したものである。

【参考】もみじ台地域の通学区等について

- もみじの丘小学校：旧みずほ小学校の通学区及び、旧もみじ台小学校と旧もみじ台南小学校の通学区の一部をそれぞれ統合。校舎は旧みずほ小学校を活用。
- もみじの森小学校：旧もみじ台西小学校の通学区及び、旧もみじ台小学校と旧もみじ台南小学校の通学区の一部をそれぞれ統合。校舎は旧もみじ台西小学校の校舎を活用。

【統合前（～H24.3.31）】



【統合後（H24.4.1～）】



2 目的

厚別区もみじ台地域において学校統合から約1年が経過したことから、統合に伴う児童の様子の変化などについて、児童及びその保護者の方々を対象にアンケート調査を行うことにより把握し、学校規模適正化による効果検証を行うとともに、今後の学校統合を検討する際の参考とすることを目的とする。

また、もみじの丘小学校及びもみじの森小学校に勤務する教員へも、教員という立場から、どういったことを感じ、新しい学校でどのように臨んでいるかといった点などを確認するため、自由記載という形式で調査を行った。児童及びその保護者の方々へ行ったアンケートとは目的が異なるが、参考として併せて掲載する。

3 対象

- (1) もみじの丘小学校及びもみじの森小学校に在籍する2年生から6年生までの児童
- (2) (1)の保護者
- (3) もみじの丘小学校及びもみじの森小学校に勤務している教員（参考）

4 実施方法

学校を通じて調査票を配布・回収

5 調査票

「参考資料（使用した調査票）」のとおり

6 調査時期

平成24年3月

7 回収数等

児童分：804枚（回収率：96.5%）

保護者分：547枚（回収率：82.6%）

教員分：33枚（回収率：50.8%）

8 集計

- 本アンケートは学校規模適正化による効果検証を目的としていることから、前段の質問で児童が統合前に通っていた学校を選択していただいている。そのうち「もみじ台小学校」「みずほ小学校」「もみじ台南小学校」「もみじ台西小学校」を選択した回答を『もみじ台4校出身』として集計を行い、「その他」を選択または無回答だったものは、表中に「その他の学校出身」「出身学校不明」としてそれぞれ回答数のみを記載した。
- もみじ台地域における学校規模適正化では、以前とは異なる校舎に通うこととなった児童と、統合後も同じ校舎に通う児童が存在している。については、それぞれの傾向を把握するため、児童の出身学校によって『もみじ台小・もみじ台南小出身』（異なる校舎へ通学）『みずほ小・もみじ台西小出身』（同じ校舎に通学）の2グループに分類し集計を行った。また、学年別の傾向についても把握するため、「もみじ台4校出身」の回答を『学年別』に分類し集計を行ったグラフも掲載した。
- グラフの割合については小数点第二位で四捨五入をしている関係で、合計が100%になっていない場合がある。
- 各問の無回答のものはごく少数で全体の割合に影響を及ぼすものではないため、グラフへの記載はしておらず、コメントについても特に断りのない限り、もみじ台4校出身の児童（またはその保護者）のうち回答があったものについて記載した。